



# FETCO Coffee Grinder

## GR-1.3 GR-2.3

### 取扱説明書



このたびは、当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

特に“安全上のご注意”はご使用前に必ずお読みください。

この説明書に反する取扱いによる損傷は、いかなるものでも一切の責任を負いません。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

## 株式会社マグナ

## もくじ

1 安全上の注意	3
2 仕様	5
3 設置	6
4 操作パネル（モデルGR-2、3）	6
5 使用方法	6
6 保護機能	7
7 グラインダー調整	7
8 プログラム方法	9

## 1. 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う危険が予想される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 図記号の意味

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	このような絵表示は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。

 <b>警告</b>	
	<b>屋外据え付け禁止</b> 屋外で使用しないでください。漏電、感電の原因になります。
	<b>床が丈夫で水平なところに確実に据え付ける</b> 製品質量に十分耐えられる丈夫で水平な床やテーブルに据え付けてください。 不完全な据え付けは転倒や落下によるけがの恐れがあります。
	<b>アース工事を行なう</b> アース工事を行なってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は、感電の原因になります。
	<b>水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けない</b> 漏電により感電や火災の原因となります。
	<b>分解禁止</b> 修理技術者、専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。異常動作をしてケガをしたり、感電、火災の原因になります。

	<b>製品の上に乗らない</b> 転倒・落下によりケガや破損の原因になります。
	<b>可燃性スプレーを近くで扱わない</b> シンナーなどの可燃物や可燃性スプレーなどを製品の近くで使用しないでください。電気接点のスパークで爆発や火災の恐れがあります。
	<b>製品に水をかけない</b> 製品に直接水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因になります。
	<b>異常時には電源プラグを抜く</b> 異常時には電源プラグを抜くか、元電源を切って運転を停止してください。異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。
	<b>専用コンセントの使用</b> 電源は専用コンセントを使用してください。電源コードを途中で接続したり延長コードの使用やタコ足配線をすると、感電や発熱・火災の原因になります。
	<b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
	<b>濡れた手で電源プラグに触らない</b> 濡れた手で電源プラグ等の電気部品には触れないでください。また、スイッチの操作をしないでください。感電の原因になります。
	<b>電源プラグを持って抜く</b> 電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して感電や発熱・火災の原因になります。
	<b>電源を切って作業する</b> いかなる作業も、マシンが停止し電源を切った後に行なってください。感電の原因になります。
	<b>漏電遮断器をつける</b> 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
	<b>漏電遮断器が作動したとき</b> 漏電遮断器が作動したときは、販売店または専門技術者にご相談ください。無理な電源復帰を行うと感電・火災の原因になります。
	<b>移動</b> 移動するときは転倒に十分注意してください。ケガの原因になります。 また、排水をきちんと行ってください。水漏れによる漏電・感電の原因になります。
	<b>廃棄</b> 廃棄は販売店または専門技術者に依頼してください。放置による環境汚染や、事故発生の原因になります。

⚠ **注意**



**電源プラグは定期的に点検する**

電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、確実に差し込んでください。  
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



**長期間使わないとき**

長期間ご使用にならないときは、必ず排水し電源プラグをコンセントから抜いてください。飲料の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因となります。

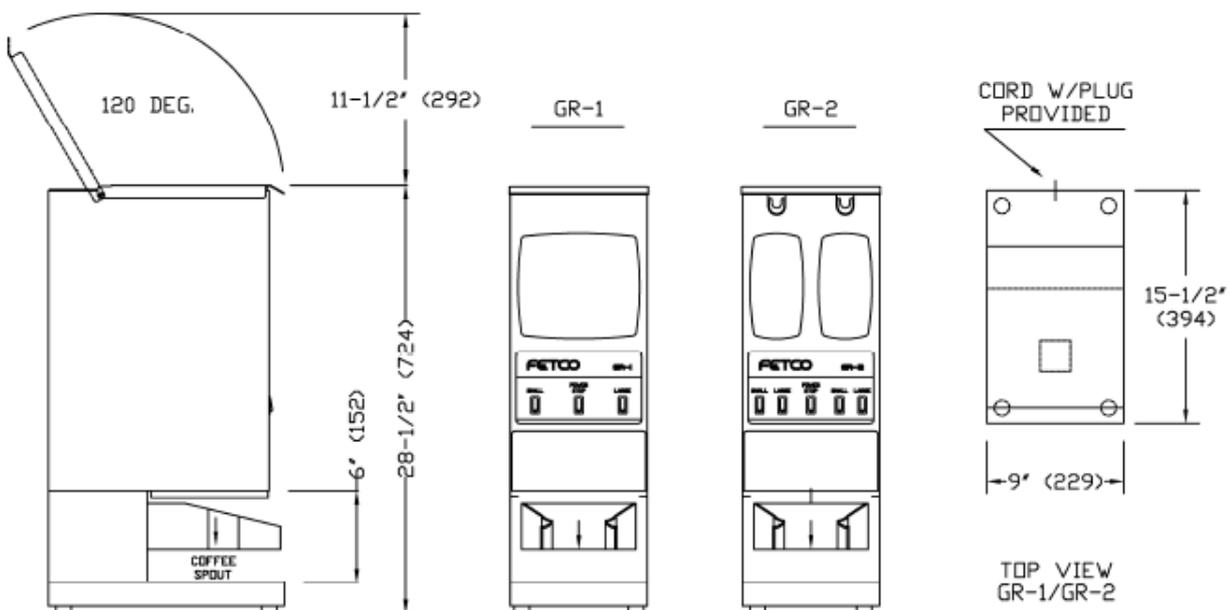


**保管**

雨水のかからない場所に保管してください。再使用のときに漏電、感電の原因になります。  
幼児が遊ぶ場所を避けてください。事故発生の原因になります。

**2. 仕様**

	GR-1.3	GR-2.3
幅(W)	229mm	229mm
奥行(D)	394mm	394mm
高さ(H)	724mm	724mm
最大高さ(フタ開時)	1016mm	1016mm
電源	AC100V	AC100V
消費電力	630W	630W
ホッパー容量	6.8kg×1	2.3kg×2
設定範囲(秒数)	0.1~999.0秒	0.1~999.0秒



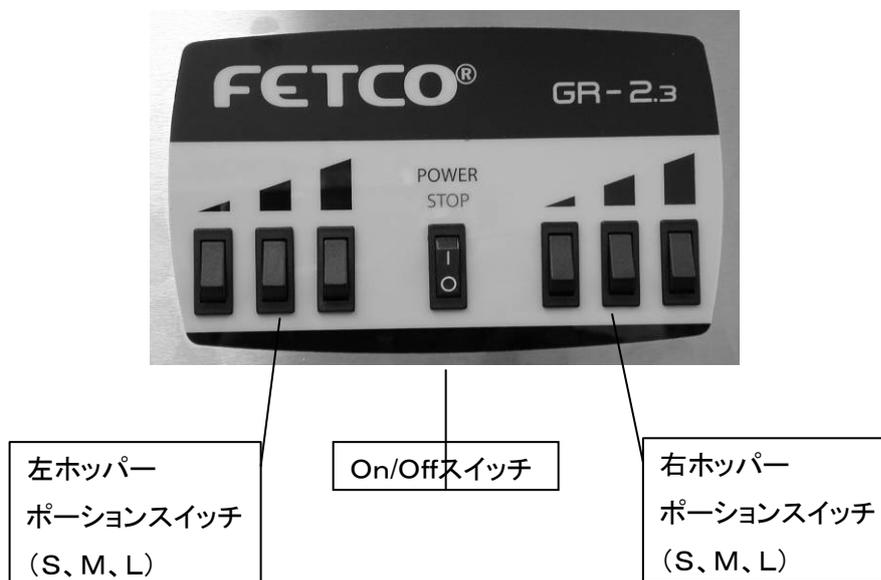
### 3. 設置

1. 設置する場所が、きちんと水平がとれていることを確認してください。
2. 接続するコンセントが、グラインダーの電気仕様に合っていることを確認してください。
3. ホッパーより電源コードを取り出し、マシン裏面の接続部につないでください。



警告：必ずアースを取ってください。感電の恐れがあります。

### 4. 操作パネル(モデル GR-2.3)



### 5. 使用方法

1. On/Off スイッチを On(I の位置)にする
  - ・ スイッチが赤く点灯し、通電していることを示します。
2. ホッパー内にコーヒー豆を入れてください。
  - ・ GR-1 は1ホッパー(容量 6.8kg)です。GR-2 は2ホッパー(容量各 2.3kg)です。
  - ・ ホッパー、およびグラインダーまでの経路に残りの豆や異物がないことを確認してください。
  - ・ ホッパーを取り出している間は、グラインダーを稼働させないでください。
  - ・ グラインダーを稼働させるときは、ホッパーのフタを閉めてください。
3. ファンネル内にペーパーフィルターをセットしてください。
  - ・ 2000 シリーズのすべてのファンネルが使用可能です。
  - ・ 6000、7000 シリーズの場合は、ペーパーフィルターで直接粉を受けてください。

4. ポーションスイッチを押します。

S (工場設定値) : 約 1 1 0 グラム

M (工場設定値) : 約 2 2 0 グラム

L (工場設定値) : 約 3 3 0 グラム

5. 動作停止後、ファンネルを抜いてください。

## 6. 保護機能

GR グラインダーは、異物などによる過負荷に対して2種類の保護機能があります。

① 操作基盤にはアラーム付のサーモブレーカーが装備されています。基盤がオーバーヒートすると、モーターにながれる電圧が切れ、警告音が鳴ります。

② モーターにはサーモブレーカーが装備されています。ただしアラーム機能はありません。モーターがオーバーヒートすると、モーターにながれる電圧が切れます。

サーモブレーカーがかかった場合は、On/Off スwitchで電源を切り、しばらく放置してください。

モーターが冷えることにより自動復帰します。

## 7. グラインダー調整

工場設定はミディアムサイズに設定しています。

1. ホッパー内のすべてのコーヒー豆を取り出してください。

◇ GR-1: ホッパー内のコーヒー豆をできるだけ多く取り出してください。その後ホッパーを外し、さらに残った豆を掃除してください。

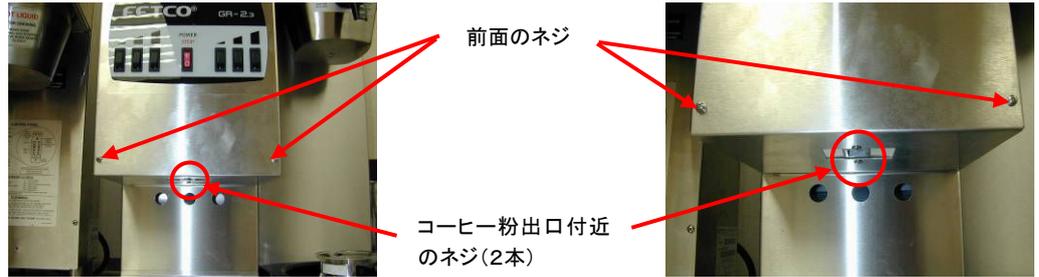
◇ GR-2: ホッパーを取り出し、ホッパー内のすべてのコーヒー豆を取り出してください。その後もとの場所に L ポーションスイッチ Center 戻してください。

2. 2つのホッパーとも、それぞれ L ポーションスイッチを押してください。これにより経路内に残っているすべてのコーヒー豆が取り除かれます。

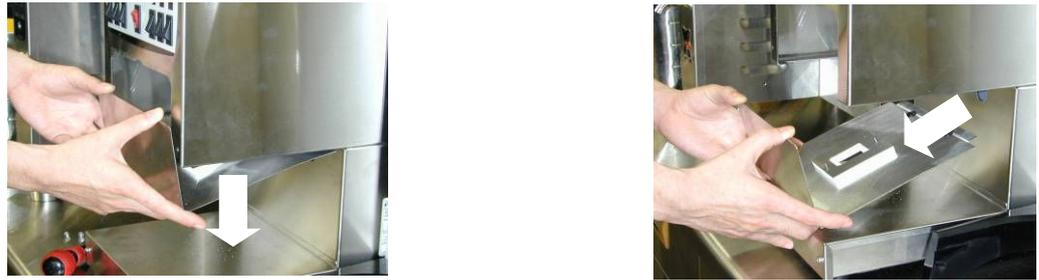
3. ファンネルホルダーを上方にずらしながら、手前に引き抜いてください。



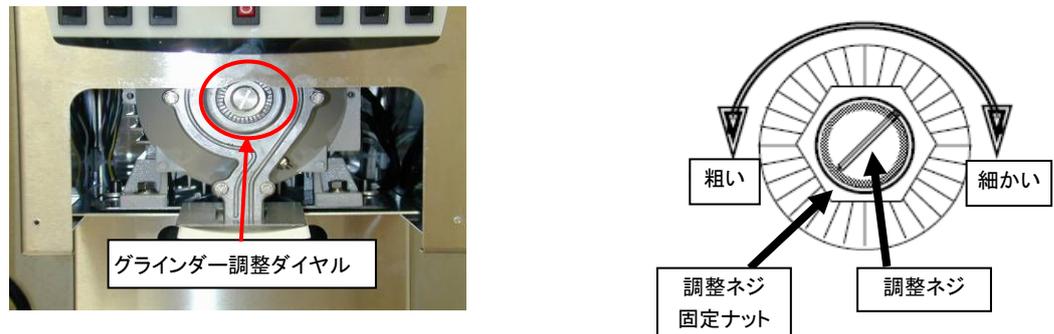
4. ファンネルをセットするところのすぐ上にある、グラインダー前面パネルのネジを2本、およびコーヒー粉出口付近にあるネジを2本の計4本のネジを外してください。



5. グラインダーカバーを押し下げながら、手前に引いて取り外してください。



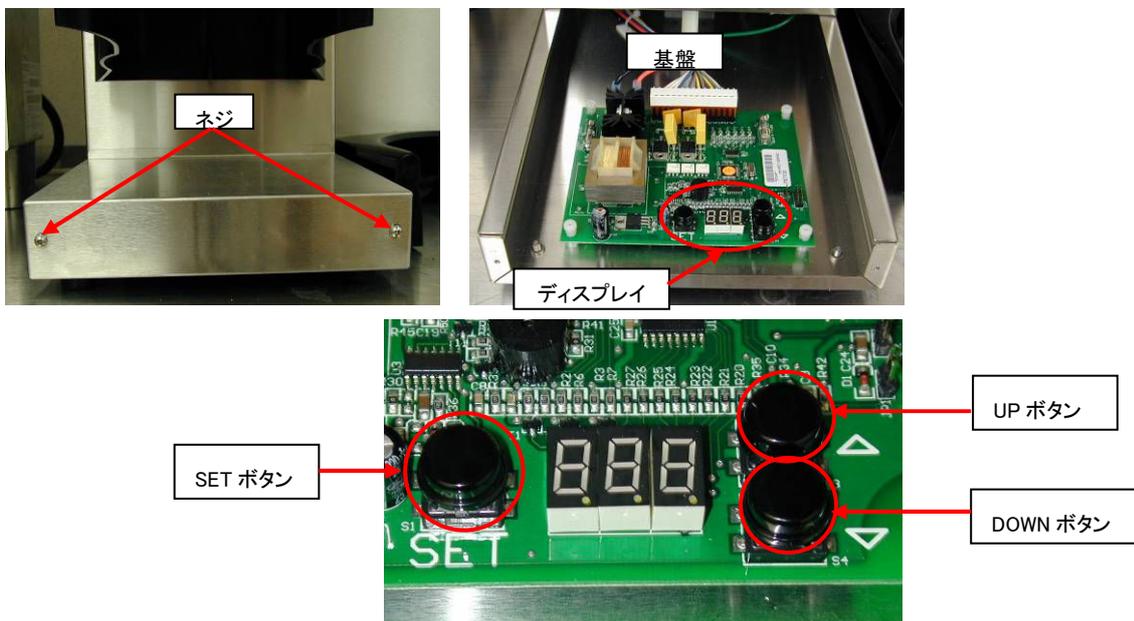
6. 7/8 インチ、または 22mm のレンチで、ダイヤル中心部の調整ネジ固定ナットを、反時計回りに最低1回転させてください。



7. マイナスドライバーで調整ネジを回し、コーヒー粉の挽き目を調整してください。
8. 時計回りに回すと細くなり、反時計回りに回すと粗くなります。  
注意：一度に4分の1回転以上は回さないでください。
9. 7/8 インチ、または 22mm のレンチで、調整ネジ固定ナットを時計回りに回し、調整ネジを固定してください。
10. 少量のコーヒー豆をホッパーに入れ、粉の挽き目を確認してください。
11. さらに調整が必要な場合は、6～9 の工程を繰り返してください。
12. 挽き目を調整した後は、必ず設定時間を調整してください。同じ設定時間でも、粉が細かければ挽く量は少なくなり、粗ければ多くなります。

## 8. プログラム方法

1. On/Off スイッチで電源デンゲンを Off にします。
2. 前面下の2本のネジを外します。その後、下のカバープレートを外すと操作基盤があります。



3. On/Off スイッチで電源を On にします。  
基盤上のディスプレイにモデル No.が表示されます。

(例: GR-2.3 の場合「23」)

その後、工場設定値から変更されていない場合は、ディスプレイに「dEF」と表示されます。  
変更されている場合は、何も表示されません。

**23** **DEF**

4. ディスプレイに「SET」と表示されるまで、SET ボタンを押し続けてください。  
SET ボタンから手をはなすと、ソフトウェアのバージョンが表示されます。

**SET** **X.X**

5. SET ボタンを押すと「TYP」と短く表示され、その後モデル No.が表示されます。  
No.が間違っている場合は、UP ボタン、DOWN ボタンで正しい No.を入力してください。

**TYP** **23**

6. SET ボタンを押すと「DEF」と表示されます。すべての設定を工場設定値に戻す場合は、「Sto」と表示されるまで SET ボタンを押し続けてください。変更が保存され、プログラムが解除されます。

※工場設定値

スモール (LH1/RH1) : 7.0 秒

ミディアム (LH2/RH2) : 13.5 秒

ラージ (LH3/RH3) : 20.0 秒

**DEF**

**Sto**

7. SET ボタンを押すと「dLY」と短く表示され、その後設定値が表示されます (GR-2 のみ)。これはグラインダー内に豆が残らない (豆を挽ききる) ように、グラインドタイムに追加してモーターが稼動する時間です。UP ボタン、DOWN ボタンで変更できます。

**DLY** **8.0**

8. SET ボタンを押すと「LH1」と短く表示され、その後グランドタイムが表示されます。 **LH1** **7.0**  
UP ボタン、DOWN ボタンで変更できます。

9. モデル No.により表示されるのは以下の通りです。それぞれ 10 と同じ方法で設定を行なってください。

	GR-1.3 (1ホッパー3ボタン)	GR-2.3 (2ホッパー3ボタン)
左S	LH1	LH1
左M	LH2	LH2
左L	LH3	LH3
右S	—	RH1
右M	—	RH2
右L	—	RH3

10. ディスプレイに「STo」と表示されるまで、SET ボタンを押し続けてください。変更が保存され、プログラムが解除されます。 **STo**





〒108-0023 東京都港区芝浦2-13-8  
TEL03-3455-7931 FAX03-3453-0344